



三春中学校だより

第 30 号

発行日 平成 30 年 9 月 18 日

発行所 三春町立三春中学校

電話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

【片づけボランティアで大活躍！ ～町小学校陸上交歓会をかげで支えました。～】

9月12日（水）は、三春町の小学生が貝山グラウンドに勢揃い。陸上交歓会の日でした。

朝から町の駐車場は小学生やそのご家族、そして、いつもの中学生の登校する姿が重なり、結構混雑していました。競技や応援でたいへん盛り上がっている声が中学校まで聞こえてきました。そして、交歓会は順調に進み、いよいよ、中学生の出番となりました。しかし、競技に参加したわけではなく、ボランティアとして、会場の後片づけに汗を流してくれたのです。

今回のボランティアは、第1学年の子どもたちと先生方が協力してくれました。小学校の先生方の指示を受け、テントの解体・移動、セフティマットやハードルの移動など、グラウンド内外を走り回って積極的に活動する姿は実にすばらしいものでした。

昇降口に帰ってくる子どもたちに感謝の言葉をかけながら迎えると、その表情には、自分たちが昨年までお世話になった小学校の活動に恩返しをすることができたとも言わんばかりの、すがすがしい笑顔が見られました。新人戦前の忙しい時期にがんばってくれてありがとうございます。

最後には、小学校の校長先生方が中学校においでになり、「子どもたちや先生方のおかげで本当にスムーズに大会を終了することができました。」とご挨拶をいただきました。第1学年の子どもたちや先生方を褒めていただき、校長として鼻高々でした。



【新人大会間近！ ～3年生部長さんより新人チーム等へのメッセージ～】

文化部の大会・コンクール等が一段落し、それぞれにすばらしい成果を上げることができました。保護者のみなさんの応援や顧問のがんばりもありますが、何より、子どもたちががんばりました。

そして、9月末には新人大会が待っています。これまで、2年半の間、チームを引っ張り、チームのために悩み、たくさんのことを学んできた3年生の部長さんから、『新人チームに愛を込めて～3年生部長よりのメッセージ～』と題して、新人チームへの応援メッセージをお願いしました。

まず1勝、そして、少しでも多く勝利の味を、という目標はどの部も共通でしょうが、3年生部長のみなさんが部活動を通して学んだことはそれだけではありませんでした。3年生の部長のみなさんの言葉の中には、ほとんど“勝つこと”という言葉は出てまいりませんでした。以下に掲載した部長さんの言葉の中身こそ、三春中学校の部活動がめざし、指導してきたことの成果に他なりません。

保護者のみなさんにも部長さんの学びの数々をご覧いただき、これからも、子どもたちのよりよい成長のために顧問と共に協力してまいりたいと存じますので、どうぞよろしく願いいたします。

1 僕が、私が部活動を通して学んだこと

○諦めないで頑張ること、仲間と協力し、一生懸命戦うということ、たくさんの人と何か目標にむかって頑張ることことはとても楽しいということ。○団結力、協力、努力、熱心さ ○チーム一丸となって何事にも諦めないでやること。○仲間と協力し合っ
て、練習したり試合をしたりする楽しさ ○目標に向けて頑張る大切さを学びました。タイムが伸びないときがあって、すごく悔しいときがあったけれど、目標に向けて少しずつ努力を重ねたら成功するときにきて頑張ってた良かった。 ○練習するほど力がつくこと。礼儀や顧問の先生、保護者への感謝の気持ち、仲間の





切さ。○目標に向かって努力すること。チームで団結することの楽しさ。礼儀。○皆を引っ張っていくには皆にやってほしいことだけを言い続けてもダメで、他の意見を聞いて、良い悪いを判断した上で、皆が納得する指示を出さなくちゃいけないこと。○団体で行動する大切さ。挨拶や礼儀。仲間の大切さ。全員でプレーすること。厳しくても苦しくても仲間がいれば乗り越えられること。応援は力になること。○基礎練の大切さ。音楽は一人では奏でられないこと。全員が同じ目標に向かって練習することの大切さ。○心の強さ。仲間と支え合うこと大切さ。努力を積み重ねること大切さ。生きていく上でのマナー。○チームワークの重要さ。仲間と協力すれば辛い練習でも乗り越えられる。主将でチームが変わること。努力しただけチームは強くなること。全力プレー。声かけ。ベンチの雰囲気が良いチームは周りから愛されること。○十人十色、いろいろな人がいて、それをまとめるのはたいへんだということ。その中で、全員で一つのものを作り上げるのはたいへんで、すてきなことだということ。個人の成長は部の成長ということ。○顧問の大切さ。作品にも個性があること。○試合をするとき、個人でも団体でも、応援してくれる仲間やアドバイスをしてくれる先生、保護者など、一緒になって戦ってくれていることや仲間との団結力。○どんな強い相手との試合でも、仲間と力を合わせて、自分を信じ、戦えば勝てるということ。仲間の大切さ。チームワーク。どんなときも努力をする。諦めなければ大きな結果をいくらかでも出せる。前向きに取り組むこと。仲間の応援の大切さ。どんなに弱くたって人一倍がんばれば強くなれること。

2 部長をしていてよかったと思ったこと

○部員をまとめるのはたいへんだったが、みんなと協力して1勝したのがよかった。責任感をもてるようになった。○全体を広く見ることができるようになった。責任感をもてた。○責任感をもてるようになった。○リーダーシップをとれるようになった。たいへんなこともあったけど、最後の達成感がすごく良かった。○まとめることができたとき、やっと“部活動”にできたなと思えて、部長をしていて良かったなと思った。○試合で勝ったとき。部長になることで練習にさらに力が入った。○周りを常に見て行動するようになった。責任感を前より持つようになったこと。判断力がついた。○団体戦もあるけど、戦うの自体は自分なので、チームというのはあまりわからなかったけど、部長になって皆のことを考えるようになって、チームというのが実感できた。○まとめる力がついたこと。いろいろな人に頼られたこと。○昨年よりも良い演奏ができ、一人一人と向き合うことができた。○時には辛くて悩んでしまったときもあったけれど、仲間が支えてくれたおかげでチームをまとめることができた。○冬の間、練習で対立とかもあったけど、結局最後はみんなが一つになれたこと。自分の気持ち次第でチームは変わるので、チームの決定権を握っているという感じ。○堂々と発言できること。○一人一人の様子を気かけられるようになったのでよかった。○部員の考えや自分の意見を先生に伝え、別のメニューを増やしたりできる。全員のことを見られるのでコミュニケーションをとりやすい。○チーム一人一人の相談に乗ったり意見を聞いたりすることで、一人一人の気持ちを考え、自分の意見を深めたりすることができた。仲間を支えられ、力を合わせ、たくさんの夢を結果として残せたこと。

3 部長をしていてたいへんだったこと

○部員をまとめるのはたいへんだった。○部をまとめる。○チームをまとめること ○チームをまとめること。○なかなかまとまらず、うまくいかないときがたいへんだったし、悔しかった。○試合でなかなか勝たなくて練習メニューを変えたりしたこと。みんなをまとめないといけないので、いつも誰よりも早く指示を出さなきゃ思っていたたいへんだった。○なかなかチームがまとまらなかったこと。自分のプレーのことだけではなく、全員のことで指示をすること。○あまり楽しくない練習でも皆を高い士気で保たせること。○適切な指示を出すのがたいへんだった。○気持ちのすれ違いやあいさつ、返事を呼びかけること。顧問と意見が違ったこと。○部長として試合に勝たなければという気持ち。自分の一言の言葉の責任感。チーム一丸となるようにまとめること。○チームをまとめ、良い雰囲気練習や試合に臨めるようにすること。なかなかチームが勝てないときにどうすれば勝てるのか、強くなるのかを考えること。○全体をまとめること。○顧問の先生がいなかったの、活動内容とかを考えたり、なかなかまとめることができなくてたいへんだった。○部員をまとめるのはもちろん、周りのことにも目を向け、正しく動く。部長が正しい行動をしていれば部員はついてきます。○1・2年生の中での意見や問題を把握すること。一人一人の意見を聞くこと。大会会場でみんなをまとめること。チーム力が高く、部員一人一人がサポートしてくれたので、たいへんだったことはありません。

さまざまなことを部長さんたちは学んでいます。いろいろ悩みながらも、チームの仲間とともに、競技の上での成長はもとより、人としてもすばらしい成長を遂げています。新人チームのみなさんにとってとても深みのある一言一言ですね。心に留め、これからの活動や大会に臨んでほしいものです。

次号はいよいよ、3年生の部長さんがこれまで部活動で学んだことをもとに、これからの1・2年生チームへのメッセージ等を掲載いたします。ぜひご期待ください。